

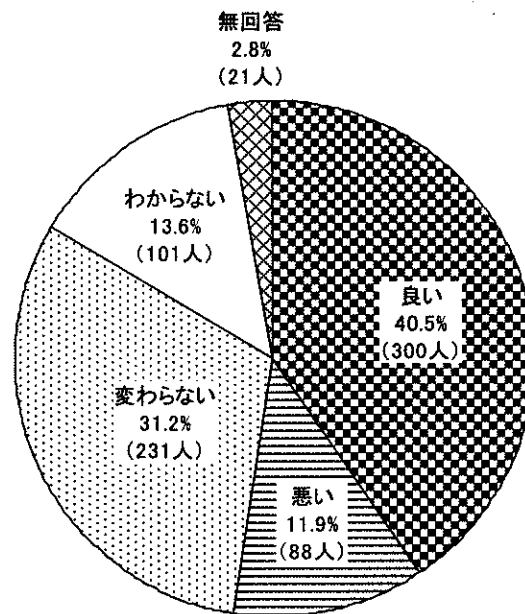
## 6. 地域社会の安全・安心（治安）について

### （1）現在の治安状況

問22 現在あなたが住んでいる地域（仮設住宅・借り上げ住宅も含む）の治安は良いと思いますか。

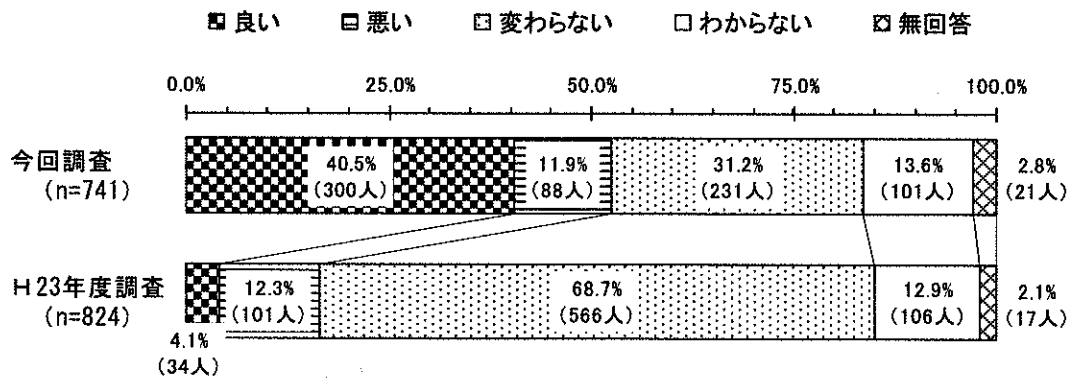
あてはまるもの1つに○をつけてください。

全体  
(n=741)



現在の居住地の治安状況が「良い」（40.5%）と思う人は4割強となっている。一方、治安状況が「悪い」（11.9%）と思う人は1割強となっている。また、「変わらない」（31.2%）が3割強となっている。

【参考 平成 23 年度調査との比較】



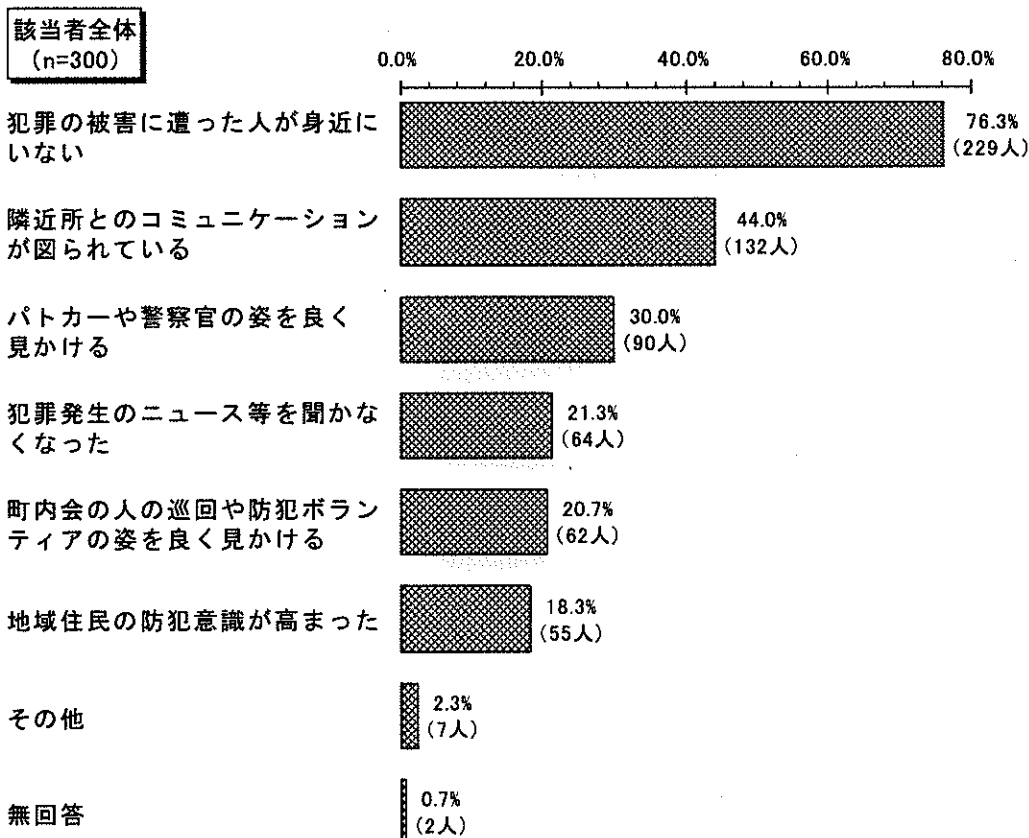
今回調査は平成 23 年度調査に比べて、「良い」の割合が、大きく上昇している。

## (2) 治安状況が良いと思う理由

(問 22 で、「1 良い」とお答えの方にお尋ねします。)

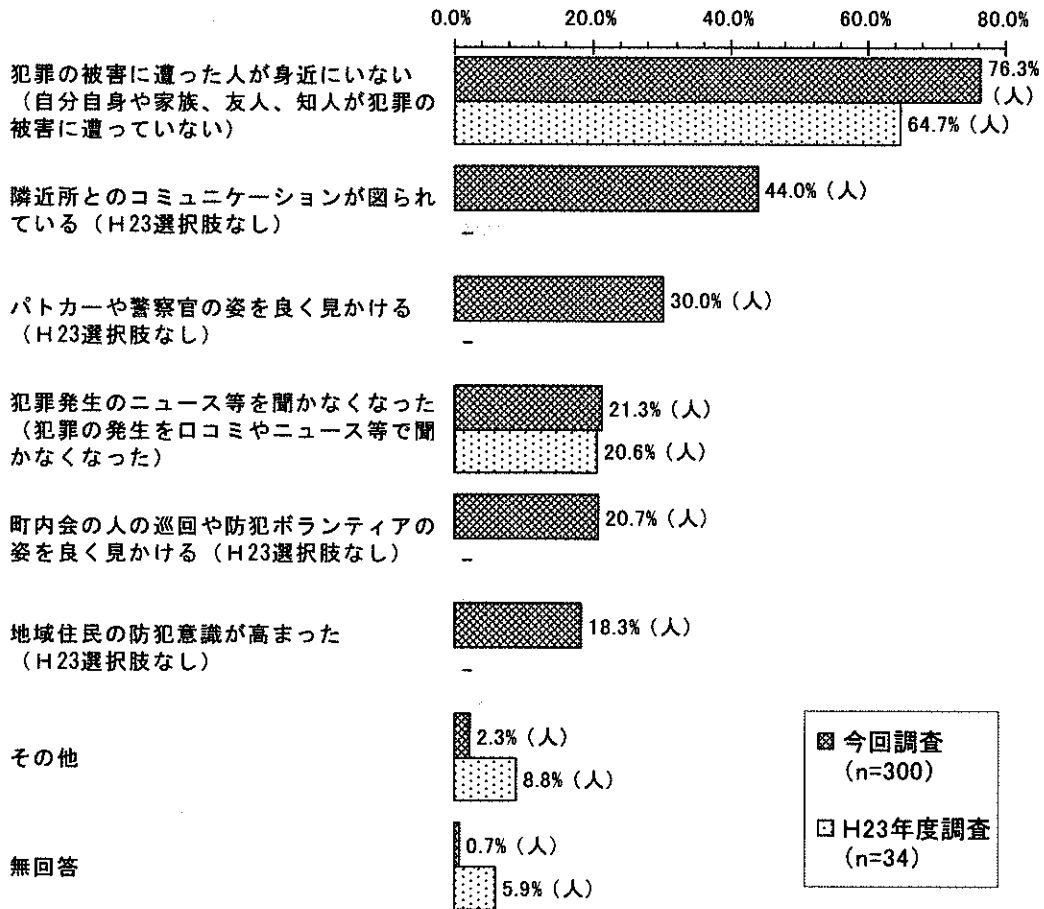
問 22-1 良いと思う理由は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。



治安状況が良いと思う理由は、「犯罪の被害に遭った人が身近にいない」(76.3%)が最も多く、8割弱となっている。以下、「隣近所とのコミュニケーションが図られている」(44.0%)が4割台、「パトカーや警察官の姿を良く見かける」(30.0%)が3割台、「犯罪発生ニュース等を聞かなくなった」(21.3%)と「町内会の人々の巡回や防犯ボランティアの姿を良く見かける」(20.7%)が2割台、「地域住民の防犯意識が高まった」(18.3%)が1割台で続いている。

【参考 平成 23 年度調査との比較】



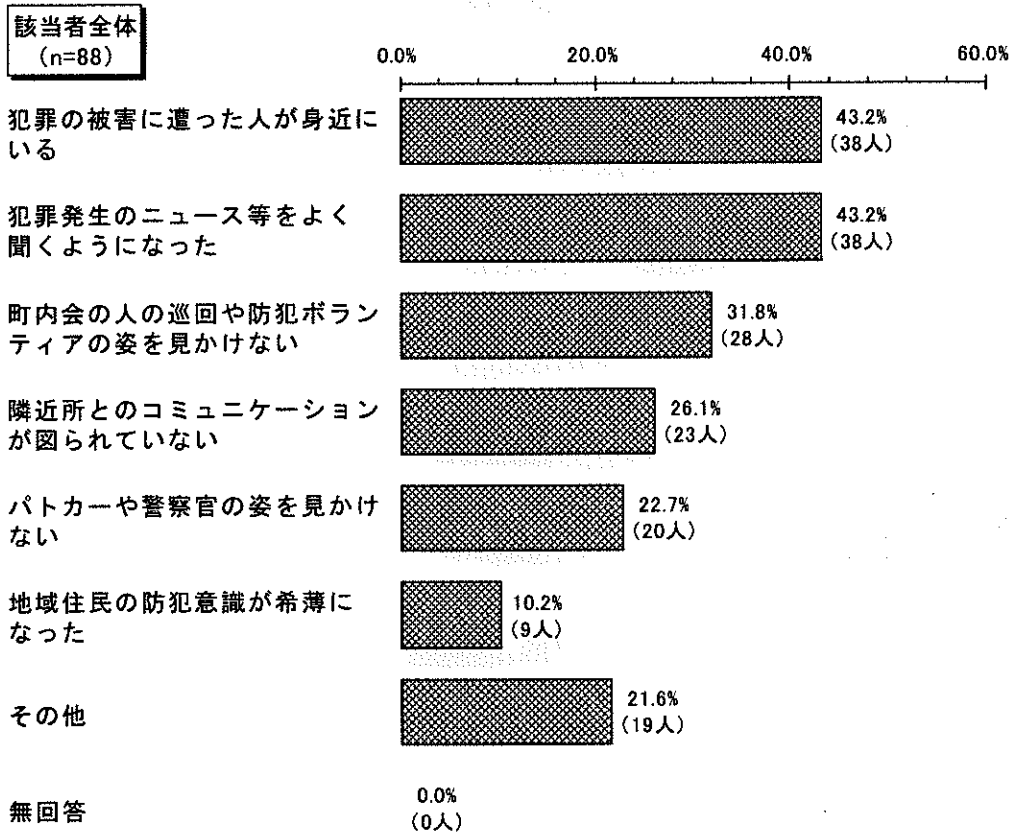
※今回調査は複数回答、平成 23 年度は単数回答、また選択肢も異なるため、図のみの掲載に留める。

### (3) 治安状況が悪いと思う理由

(問 22 で、「2 悪い」とお答えの方にお尋ねします。)

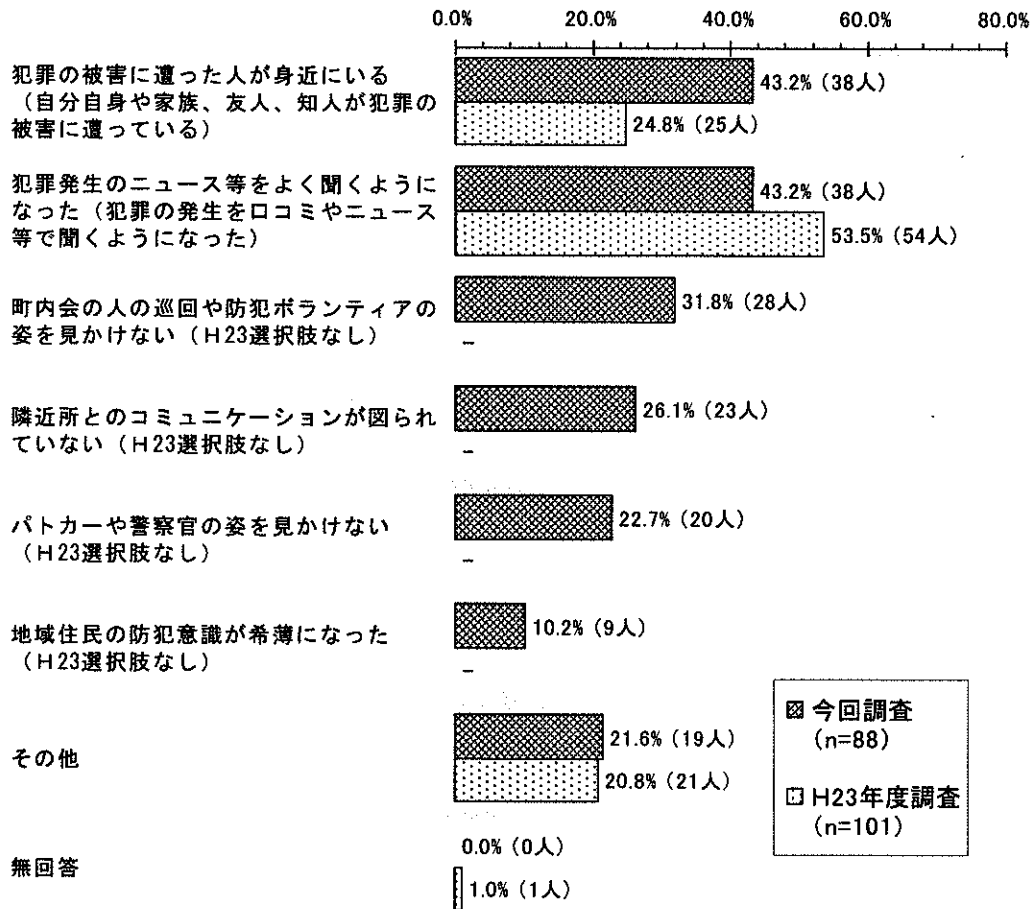
問 22-2 悪いと思う理由は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。



治安状況が良いと思う理由は、「犯罪の被害に遭った人が身近にいる」と「犯罪発生のニュース等をよく聞くようになった」(それぞれ 43.2%) が 4 割強で高くなっている。以下、「町内会の人や防犯ボランティアの姿を見かけない」(31.8%) が 3 割台、「隣近所とのコミュニケーションが図られていない」(26.1%) と「パトカーや警察官の姿を見かけない」(22.7%) が 2 割台で続いている。

【参考 平成 23 年度調査との比較】

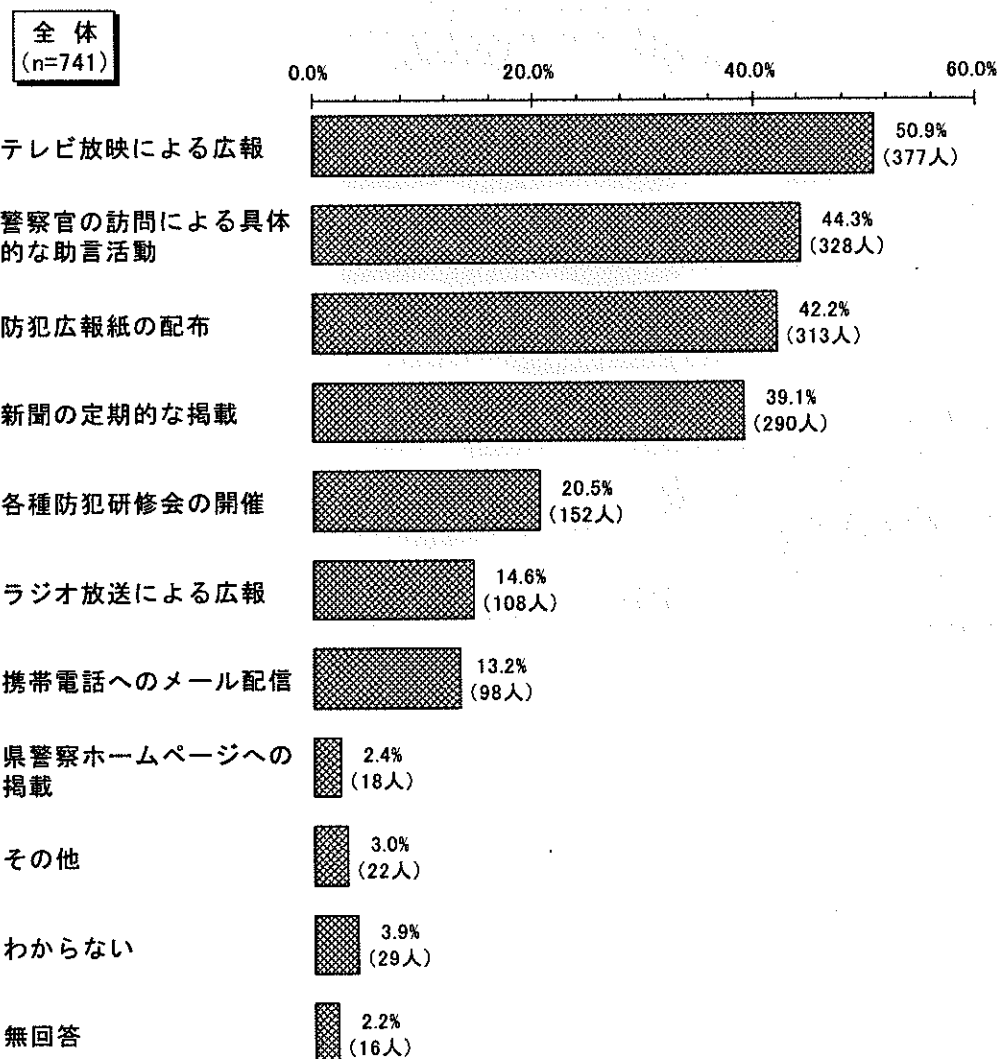


※今回調査は複数回答、平成 23 年度は単数回答、また選択肢も異なるため、図のみの掲載に留める。

#### (4) 犯罪の発生状況や防止方法等の情報の提供手段

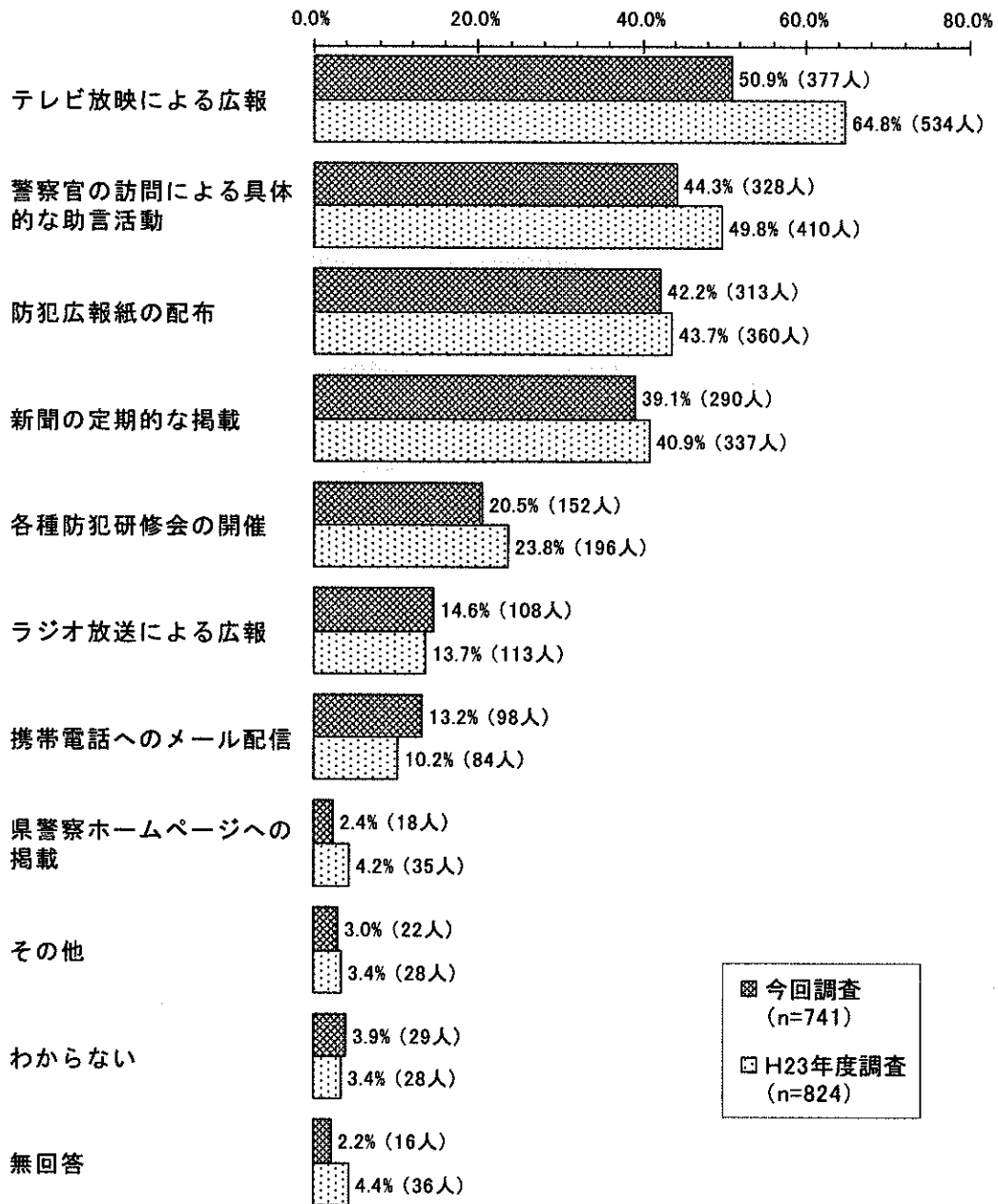
問 23 犯罪の発生状況や犯罪を未然に防止する方法等の情報について、どのような形で提供されるのがよいと思いますか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。



犯罪の発生状況や防止方法等の情報の提供方法については、「テレビ放映による広報」(50.9%)が最も多く、5割を超えた。以下、「警察官の訪問による具体的な助言活動」(44.3%)と「防犯広報紙の配布」(42.2%)が4割台、「新聞の定期的な掲載」(39.1%)が3割台、「各種防犯研修会の開催」(20.5%)が2割台、「ラジオ放送による広報」(14.6%)、「携帯電話へのメール配信」(13.2%)が1割台で続いている。

【参考 平成 23 年度調査との比較】



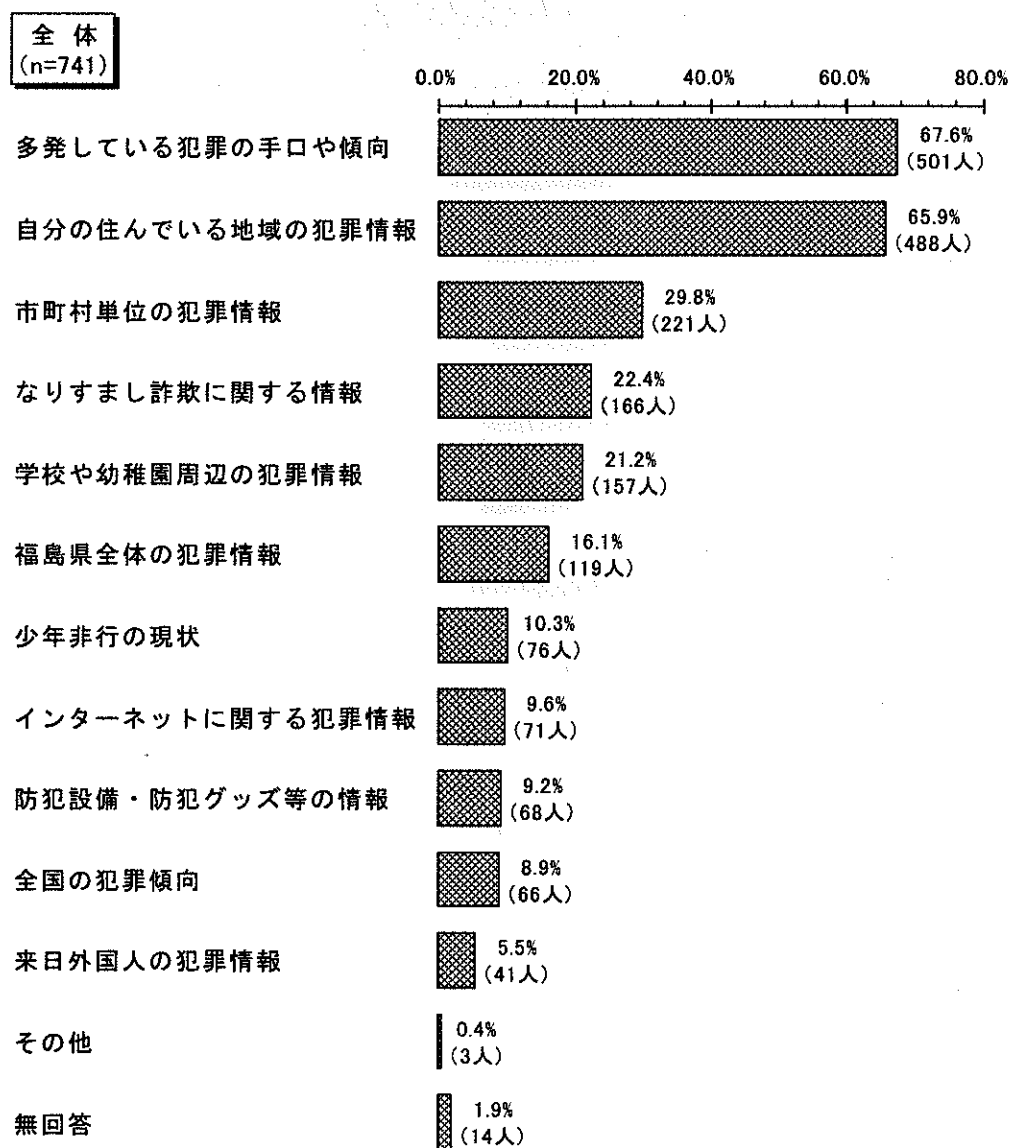
今回調査、平成 23 年度調査ともに回答数の多い順位は同じであるが、ほとんどの項目で平成 23 年度調査よりも割合が低下している。



## (5) 犯罪に関して知りたい情報

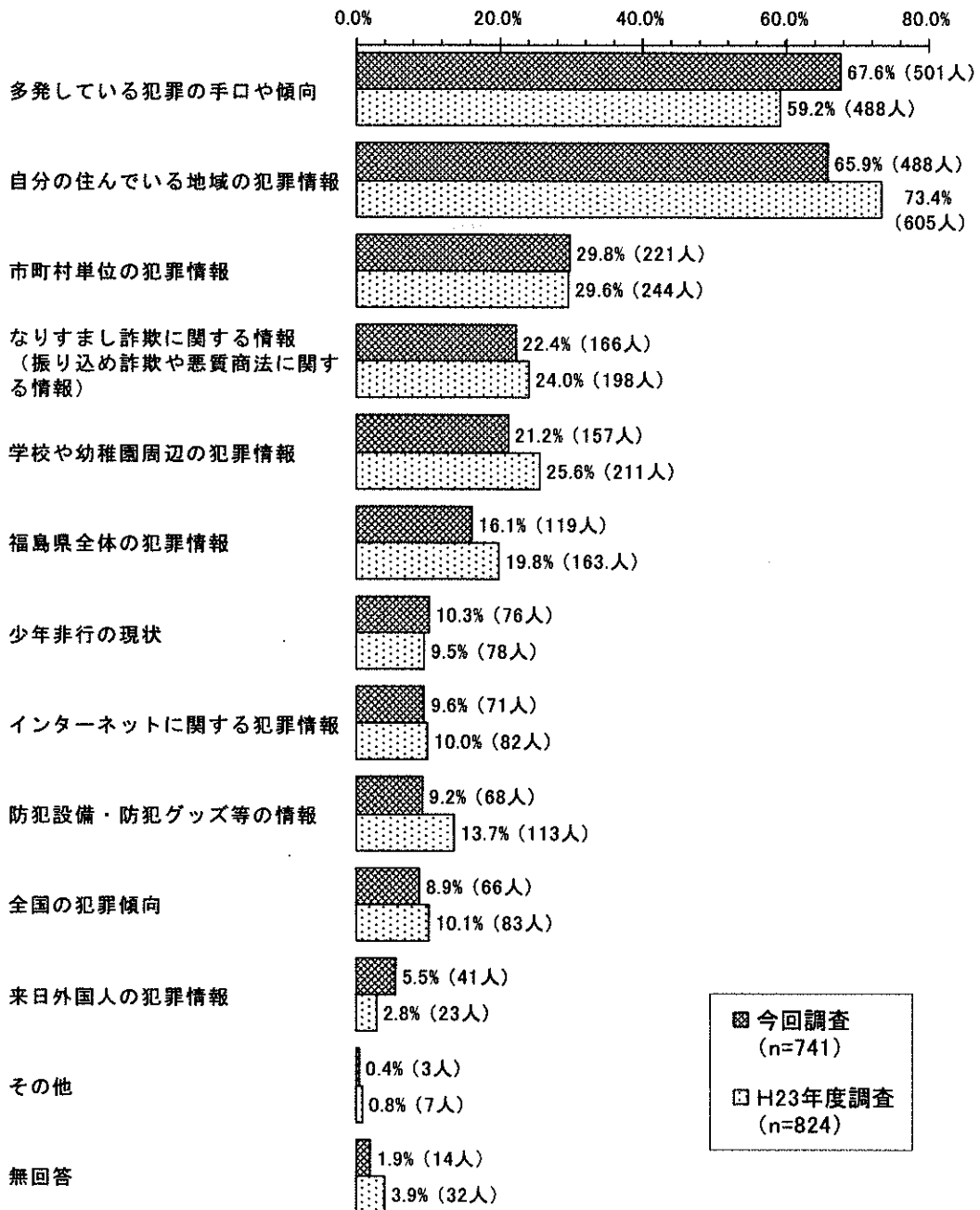
問 24 犯罪に関するどのような情報が知りたいですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。



犯罪に関して知りたい情報は、「多発している犯罪の手口や傾向」(67.6%)が最も多く7割弱となっている。次いであまり差がなく、「自分の住んでいる地域の犯罪情報」(65.9%)が6割台で続いている。以下、「市町村単位の犯罪情報」(29.8%)、「なりすまし詐欺に関する情報」(22.4%)、「学校や幼稚園周辺の犯罪情報」(21.2%)、「福島県全体の犯罪情報」(16.1%)の順となっている。

【参考 平成 23 年度調査との比較】

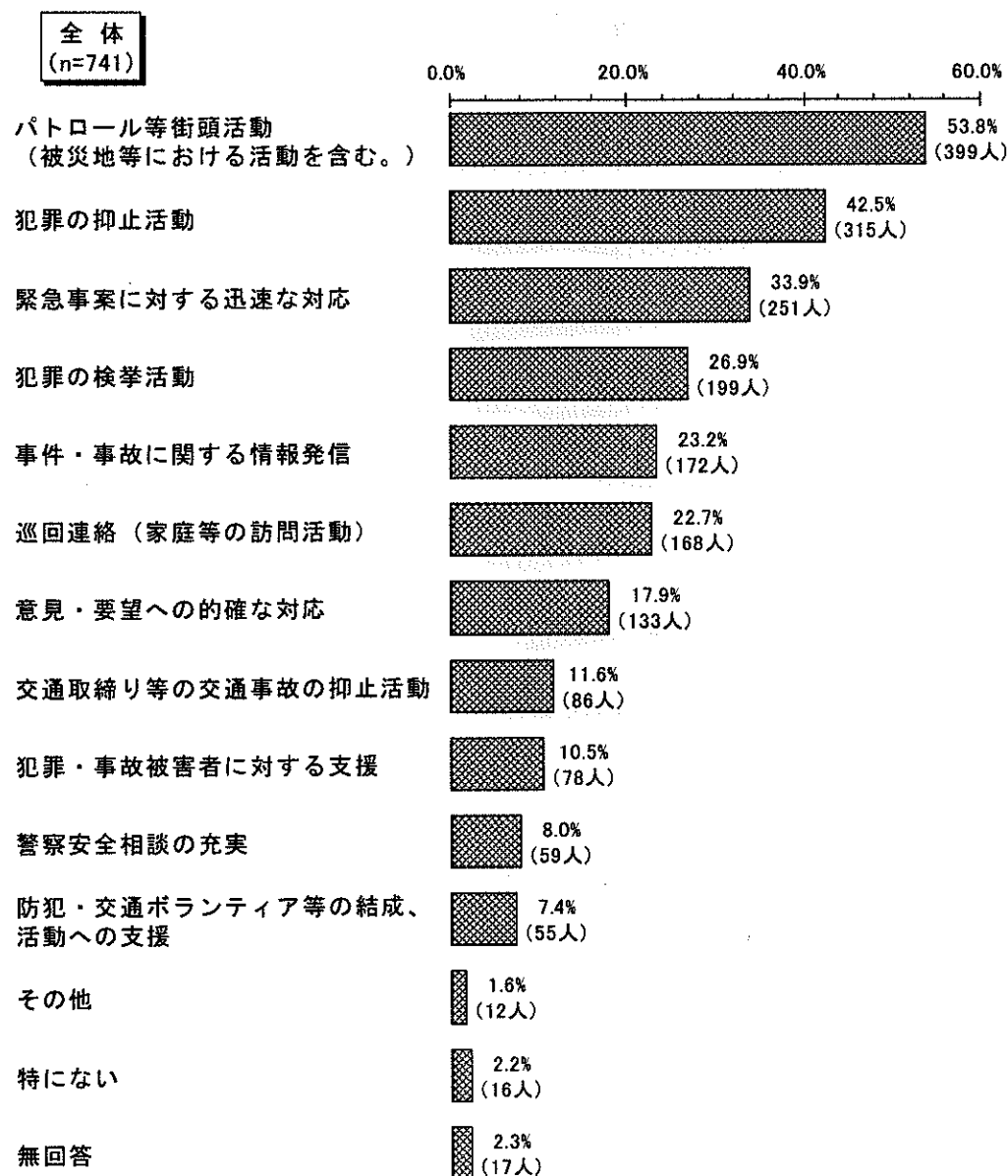


今回調査は平成 23 年度調査に比べて、「多発している犯罪の手口や傾向」の割合が上昇し、「自分の住んでいる地域の犯罪情報」の割合が低下している。

## (6) 警察に強化してほしい活動

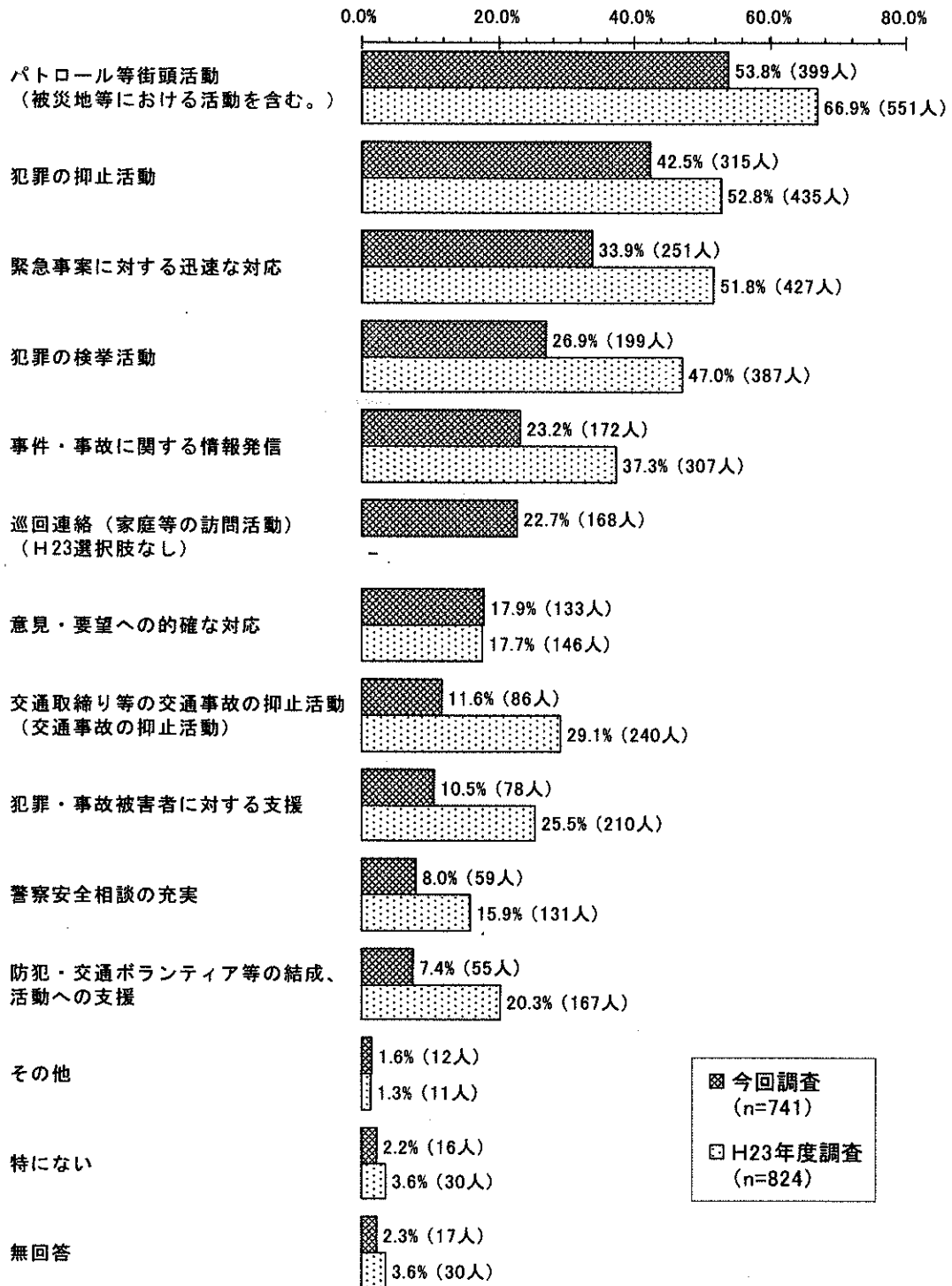
問25 安全・安心な地域社会をつくるため、警察にどのような活動を強化してほしいと考えますか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。



警察に強化してほしい活動は、「パトロール等街頭活動 (被災地等における活動を含む。)」(53.8%) が最も多くなっている。以下、「犯罪の抑止活動」(42.5%) が4割台で続き、「緊急事案に対する迅速な対応」(33.9%) が3割台、「犯罪の検挙活動」(26.9%)、「事件・事故に関する情報発信」(23.2%)、「巡回連絡 (家庭等の訪問活動)」(22.7%) が2割台、「意見・要望への的確な対応」(17.9%)、「交通取締り等の交通事故の抑止活動」(11.6%)、「犯罪・事故被害者に対する支援」(10.5%) が1割台となっている。

【参考 平成 23 年度調査との比較】

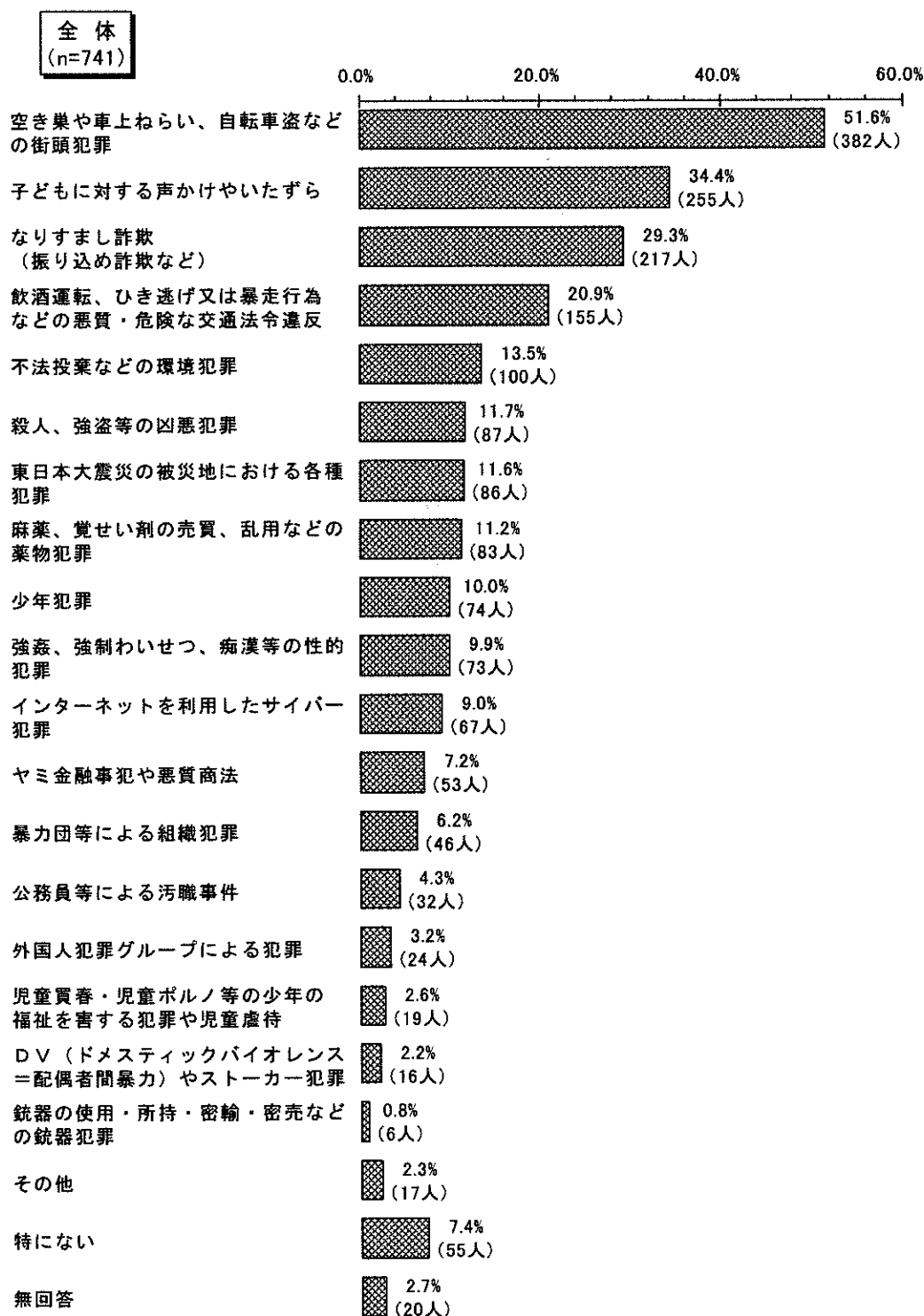


※今回の調査は3つまでの複数回答、平成 23 年度は制限無しの複数回答のため、図のみの掲載に留める。

## (7) 重点的に取り締まってほしい犯罪

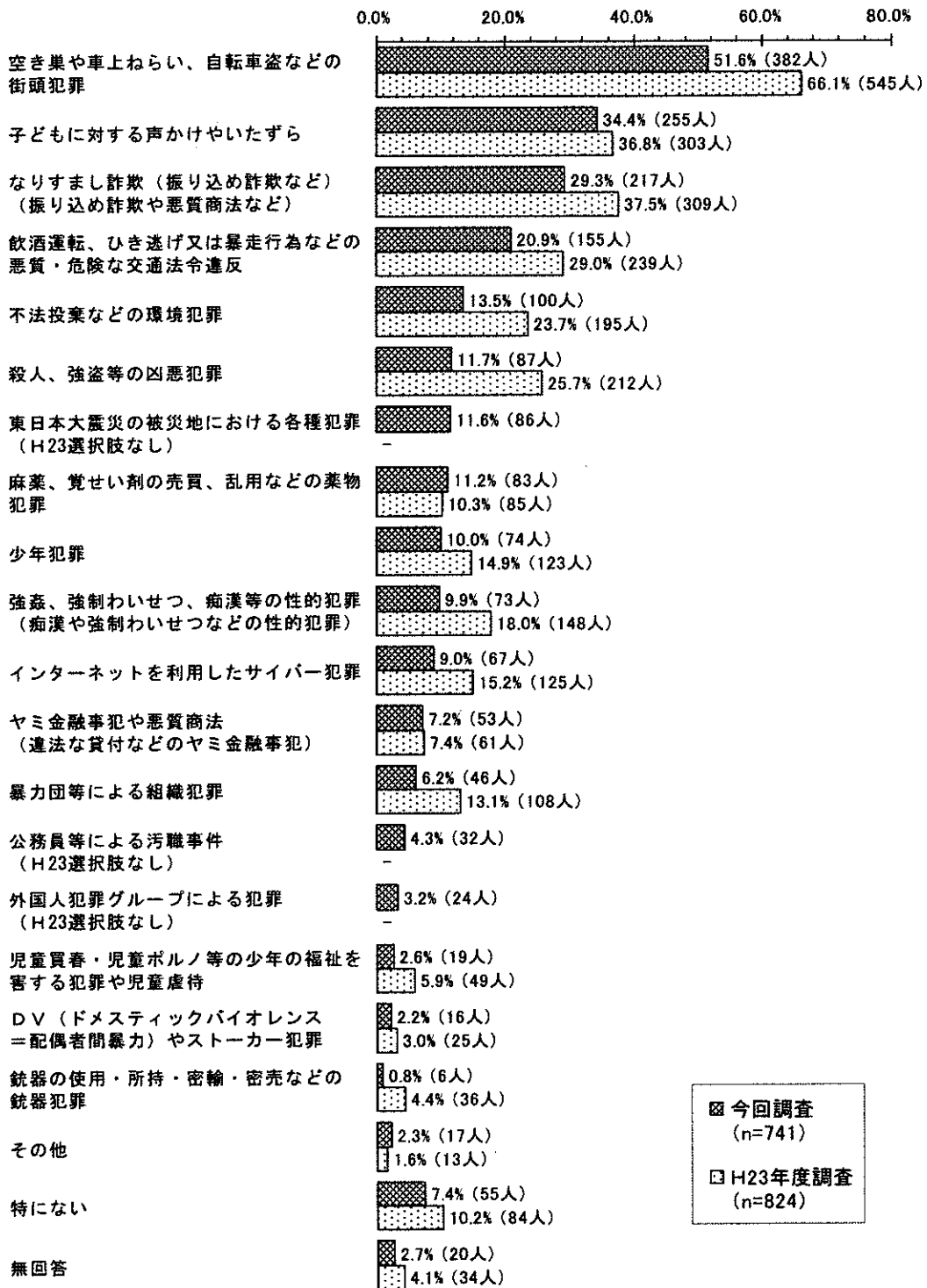
問 26 現在お住まいの地域で最も不安を感じ、今後重点的に取り締まってほしい犯罪は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。



今後重点的に取り締まってほしい犯罪は、「空き巣や車上ねらい、自転車盗などの街頭犯罪」(51.6%)が5割強で最も多くなっている。以下、「子どもに対する声かけやいたずら」(34.4%)、「なりすまし詐欺(振り込め詐欺など)」(29.3%)、「飲酒運転、ひき逃げ又は暴走行為などの悪質・危険な交通法令違反」(20.9%)、「不法投棄などの環境犯罪」(13.5%)、「殺人、強盗等の凶悪犯罪」(11.7%)、「東日本大震災の被災地における各種犯罪」(11.6%)、「麻薬、覚せい剤の売買、乱用などの薬物犯罪」(11.2%)が続いている。

【参考 平成 23 年度調査との比較】



※今回調査（重点的に取り締まってほしい犯罪）と平成 23 年度調査（最も不安に感じる犯罪）では設問が異なるため、図のみの掲載に留める。

